

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月16日 (17:00~20:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 塚田・山本・小池・宮澤・塚田浩・望月・木藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	4人	0人	0人	7人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>新規利用者さんがサービス利用に慣れるまでの接し方に配慮をする</li> <li>① スタッフ同士連携をとり不安にならないよう支援をする</li> <li>② 利用者本人、ご家族に積極的に聞き込みをして早い段階で生活歴等の情報収集を行い共有する</li> <li>ケアに不安がある場合はその場で他スタッフ等に確認して的確なケアに努める</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>アセスメントシート、ライフサポートプラン、初回利用時の様子、iPad活用の個人ケア記録、申し送り等で共有できている</li> <li>ケアに不安があるときはスタッフ間の確認を大事にしている</li> <li>生活歴やご自宅での生活の様子を送迎時ご家族にお聞きし情報共有に努めるようにしている</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	3	1		7
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	4			7
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	4			7
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	4			7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	ミーティングが開けない場合アセスメントシート、ライフサポートプラン等で確認し共有している
②	初回利用開始時はある程度アセスメントにより意向に添ったサービスプランができています
③	不安の軽減を意識して頻回の声掛けや(場合によりマンツーマン対応)座席の配置に配慮している
④	送迎時や電話連絡、訪問時話を聞き込むようにしている

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス利用に慣れていない時期の声掛けや気遣いが業務に追われて十分でない時がある</li> <li>ご家族との関りが難しいと感じる時がある</li> <li>利用者さんに対して適切な対応ができていないのか自信が持てないことがある</li> <li>スタッフ側からの興味の引き出し方がワンパターンになっている</li> </ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規利用者さんがサービス利用に慣れるまでの接し方に配慮をする</li> <li>スタッフ同士連携をとり不安にならないようケア方法を工夫して支援をする</li> <li>利用者さん本人、ご家族に積極的に聞き込みをして早い段階で生活歴、やりたいこと、継続したいこと等の情報収集を行い共有する</li> </ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月16日 (17:00~20:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 塚田・山本・小池・宮澤・塚田浩・望月・木藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	7人	0人	0人	0人	7人

前回の改善計画

- ・具体的な目標設定を全スタッフが関わって立て、利用者さんに理解していただきながら支援していく
- ・利用者さんおひとりおひとりとの関りを意識して行う

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・ライフサポートプランに沿っての具体的な目標をスタッフが設定するようにしている
- ・役割を持っていただき積極的に関わってもらえるようにしたが、中にはやりたがらない利用者さんもいる
- ・スタッフが仲介的な働きを心掛け馴染みの関係づくりができている
- ・話やすい場面 (送迎・入浴等) を活用している

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		3	4		7
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		3	4		7
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		3	4		7
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	3	3		7

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ① 目標は全スタッフが関わりをもって設定している
- ② 明確になっている利用者さんの目標は理解している
- ③ それぞれの目標を確認しながら関わるよう努めている
- ④ ミーティングでは小さな情報も共有しながら、次の対応時に活かせるようにしている

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・認知症のため目標やニーズをご本人から聞き出すのが難しい またそれに対して投げかけの仕方も難しい
- ・日々の業務に追われ深く関われない時がある
- ・「できない」という状態に目が向いてしまいがちで、目標を理解してのケアができていない

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・関わりの中から具体的に「～したい・～し続けたい」をケアの目標に言語化していく
- ・利用者さんおひとりおひとりとの関りを意識して行う

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月16日 (17:00~20:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 塚田・山本・小池・宮澤・塚田浩・望月・木藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	5人	1人	0人	7人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>生活歴や利用者ご本人の思いから以前の生活を把握して、現時点の状態と照らし合わせることのできないことの整理をして、できていることに視点を置き支援していく</li><li>接する中でアプローチを常に心がけ、知りえた情報の共有をする</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"><li>個々の会話を大切にしながら対応したが、認知症状からくる思い込みや現在の状態把握ができないため現在の状態を理解することに苦慮することがある</li><li>できないことに目を向けず、できていることや、ご本人がやりたいことをできるように支援している</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		4	3		7
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	2			7
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	4	2		7
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	2	1		7
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	4			7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	利用者さんの中に以前の生活を話していただける方もいるので会話を大事にしている
②	基本的ケア・介助はできている
③	「いつもと違う」という状況をスタッフ間で共有して判断できる
④	変化時はその都度情報共有して臨機応変に支援できている
⑤	ご本人の体調や気持ちの変化を見極めるように努めている

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>その方の生活を細かく把握できていないところがある</li><li>ご本人、ご家族との会話で聞き込みが不足している…聞き出しにくい場合と聞き出せない場合がある</li><li>ご本人の声にならない意向やニーズを言語化できていない</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>生活歴や利用者ご本人の思いやニーズから以前の生活を想像して、現時点の状態と照らし合わせ、できることのできないことの整理をして、できていることに視点を置き支援していく</li></ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月16日 (17:00~20:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 塚田・山本・小池・宮澤・塚田浩・望月・木藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	1人	0人	0人	7人

前回の改善計画  
・地域資源の知識を得る-運営推進会議で地域課題を話題にする  
・インフォーマルサービスの利用を進め地域との繋がりを持つよう支援する

前回の改善計画に対する取組み結果  
・運営推進会議では地域のことを地区役員さんや包括支援センターの職員さんから提供していただけている  
・地域のインフォーマルサービスの情報収集ができなかったが、地区により民生委員さんとの関りが持てた  
・家族が介護保険サービス以外の「有償サービス」の利用希望がありヘルパーサービス(通院・買物・大掃除)に繋がられた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	4			7
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	5	1		7
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	4	2	1		7
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	4	2	1		7

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
① 全員ではないがご本人、ご家族から話を聞き理解できている利用者さんもある  
② 介護保険サービス以外の利用の情報は必要な場合は提供している  
③ 送迎・訪問時様子を確認している  
④ 民生委員さんとは利用開始時連絡をできるだけとれるようにして連携できている

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
・今の暮らしの理解をして不足部分を調整しているが、金銭的理由や他人の出入りを嫌がることも多々ある  
・以前のように気軽に訪問してくる近隣の方も高齢になり行き来が希薄になってきている  
・介護保険のサービスを開始すると地域との関りを必要としない場合も多くある

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
・地域資源の知識を得る-運営推進会議で地域課題を話題にする  
・インフォーマルサービスの利用をすすめ地域との繋がりを持つよう支援する

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月16日 (17:00~20:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 塚田・山本・小池・宮澤・塚田浩・望月・木藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	6人	1人	0人	0人	7人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多機能部分のサービスを十分に活用し、利用者、ご家族にバランスの良い生活を提供する</li> <li>・外出・買物・外食等ニーズに応じて柔軟に対応していく</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご本人、ご家族の状況変化時は必要に応じて柔軟に対応できている 特に介護者の状況変化による変更が多い</li> <li>・利用者さんの気持ちの変化も理解し、ご家族の意向を優先せず双方歩み寄りを持ちながら対応している</li> <li>・外出・買物・外食等は体調、気候、スタッフの状況を見極めながら対応している</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	5	2			7
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7				7
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	6	1			7
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	1			7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 有償サービスや近隣の知り合い、民生委員さん等の連携を心掛けている</li> <li>② ニーズの確認を行いサービスを組み合わせながら提供を行っている</li> <li>③ ミーティングでは全利用者さんカンファレンスを行い、特に対応に苦慮している場合は集中カンファレンスを実施してスタッフ間でケアの共有を図っている</li> <li>④ 日々の変化は記録に残し、対応方法や工夫したこと等申し送りで共有できている</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用人数がマックスの場合、調整を行ったが希望通りのサービス提供ができずお断りしたことがある 特に泊希望に多い</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多機能部分のサービスを柔軟に活用し、利用者、ご家族にバランスの良い生活を提供する</li> <li>・外出・買物・外食等ニーズに応じて対応していく</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月16日 (17:00~20:00)

6. 連携・協働

メンバー 塚田・山本・小池・宮澤・塚田浩・望月・木藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5人	2人	0人	0人	7人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ボランティアさんの定期的訪問の受け入れをして良好な関係作りを継続していく</li> <li>・障害者施設との連携を図り協力継続をして行く</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4・5月に新規のボランティアさんを近隣にチラシを配布して募り、その後計画的定期的な受け入れが できている</li> <li>・障害者施設への協力は継続している(アルミ缶・ペットボトルのキャップ回収、物資の購入)</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	7				7
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	7				7
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?			1	6	7
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	4	1		7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	担当者会議を開催し連携を図っている
②	地域のケアマネ連絡会・小多機連絡会等参加している
③	情報収集を行い活動内容は徐々に把握してきている
④	近隣の高齢者が買い物途中で駐車場のベンチでお休みしたり、安否確認を兼ね高齢男性が来所して来る利用者孫が通い日送迎をして、ひ孫を連れてくることがある

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の行事等の参加はできていない</li> <li>・施設内での活動に留まり外部に目が向いていない</li> <li>・近所の方の訪問も限られている→拡がり難しい</li> <li>・感染症予防のため人の出入りに対して未だにリスクが高いと感じてしまっている</li> </ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ボランティアさんの定期的訪問の受け入れをして良好な関係作りを継続していく</li> <li>・障害者施設との連携を図り協力継続をして行く</li> <li>・地域行事の状況を把握し参加可能か検討をする</li> </ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月16日 (17:00~20:00)

7. 運営

メンバー 塚田・山本・小池・宮澤・塚田浩・望月・木藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	2人	0人	0人	7人

前回の改善計画

・安定した運営(利用者数の確保・予算にあった事業収入・適正な運営を行えるスタッフ人数の確保等)を継続する 特に重度認知症状の対応で無理のない働き方が出来るような人員配置をする。

前回の改善計画に対する取組み結果

・利用者数に変動はあったが業務内容を鑑み的確な人員配置ができるスタッフ数の充足はできている  
 ・重度認知症状の対応は全スタッフ偏りなく行えているため若干余裕のある人数配置ができている  
 ・スタッフの急な体調不良時にはスタッフの協力があり、スムーズにシフトの変更対応を行えている  
 ・訪問業務の回数が急激に増え、特に訪問が集中する午前のスタッフ配置に苦慮している

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	5	1	1		7
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	6	1			7
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	6	1			7
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		5	2		7

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

① 特定非営利活動法人なので「自分事」として仕事をとらえるようにして意見を言うことができている  
 ミーティングや普段の会話の中で意見や思いは言えている 提案もできている  
 ② ミーティングで共有し苦情処理の担当者や対応が明確になっている  
 ③ 運営推進会議での意見等はスタッフに情報提供して共有している  
 ④ 地域の中での認知度は徐々に広まってきている思う

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・地域と繋がる行事開催ができづらい  
 ・運営については法人・管理者任せになっていることが多い

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

・安定した運営(利用者数の確保・予算にあった事業収入・適正な運営を行えるスタッフ人数の確保等)を継続する 特に重度認知症状の対応で無理のない働き方が出来るような人員配置をする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月16日 (17:00~20:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 塚田・山本・小池・宮澤・塚田浩・望月・木藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
前回の課題について取り組めましたか?	6人	1人	0人	0人	7人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ個人別にスキルの確認をしてキャリアパスガイドライン評価・育成プログラム等活用してケアの充実を図る</li> <li>・全スタッフ同じ質のケアが提供できるように手順・声掛け等統一したケアを行う</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部研修参加や個人的には介護動画を見て、良いケアを提供できるようにしている</li> <li>・ケアの質の保持ーiPad活用のケア記録や申し送り事項で統一できている</li> <li>・スタッフ別スキルの確認が難しい 次年度に向けキャリアパスガイドの育成項目の見直しを行っている</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5	2			7
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	1	2	3	7
③ 地域連絡会に参加していますか	7				7
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	5	2			7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
① 内部研修参加はほぼ全スタッフが参加している	
② 外部研修や資格更新研修の参加はできている	
③ 管理者(ケアマネジャー)が参加できている	
④ 法人指定の研修(年2回)を行った	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・日々の業務に追われ時間的余裕がない中介護に対する意欲の低下も見られる	
・レベルアップのための研修・外部研修参加ができていない	
・リモート研修が多く参加しにくい	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・スタッフ個人別にスキルの確認をしてキャリアパスガイドライン評価・育成プログラム等活用してケアの充実を図る	
・レベルにあった外部研修への参加や資格修得のための研修に参加する	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月16日 (17:00~20:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 塚田・山本・小池・宮澤・塚田浩・望月・木藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	1人	0人	0人	7人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止・身体拘束適正化学習を行い、常に意識しながら業務をしていく</li> <li>・必須研修項目なので内部研修を行い、見直し、振り返りの機会を持つ</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常に日常業務中意識を持って対応している</li> <li>・内部研修で日々の業務の振り返りを行いスタッフお互いが注意しながら対応している</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	6	1			7
②	虐待は行われていない	6	1			7
③	プライバシーが守られている	6	1			7
④	必要な方に成年後見制度を活用している	該当なし				
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	1			7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
すべての項目関連の研修は行っている	
① 身体拘束にあたる行為はなし	
② 虐待にあたる行為はなし	
③ プライバシーについては（特に排泄・入浴・更衣等）声かけや行為において常に意識をして行っている	
④ 現在該当者なし	
⑤ 個人情報保護についてはスタッフ全員で注意・確認しながら対応している（特に個人ファイルの扱い）	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症ケア対応時口調等不適切になっているのか考えながら行うことがある</li> <li>・介護側の都合や考えを優先してしまうことがある</li> <li>・病気の症状と思い接しているが、認知症介護の難しさを痛感することがある</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止・身体拘束適正化学習を行い、常に意識しながら業務をしていく</li> <li>・必須研修項目なので内部研修を行い、見直し、振り返りの機会を持つ</li> </ul>	

外部評価 地域かかわりシート①

- 外部評価（地域かかわりシート①）は、A～Fまでの6項目となります
- 項目Aについては「事業所自己評価」をお読みいただき、適当と思われる箇所に☑を記入ください。わかりにくい場合は、運営推進会議当日に事業者から説明がありますので、空欄のまま持参し、当日記入いただいても結構です。
- B～Fの項目については、当日までに下記チェック項目の適当と思われる箇所に☑を記入し、運営推進会議当日に持参してください。
- 当日は、運営推進会議メンバーの記入したチェック箇所を集計しながら、ご意見をいただく予定です。
- 下記チェックに基づき、当日お聞きしたい内容は、各項目の「できている点」「できていない点」「次回までの具体的な改善計画」の3点です。
- 地域かかわりシートへの皆様のご意見は、事業所の質の向上につながり、皆様の地域にとって必要な拠点となるために大変重要です。事業所を育て、認知症になっても、介護が必要となっても、安心して暮らし続けることができる町をともにつくるために、ご理解、ご協力をお願いします。

A. 事業所自己評価の確認（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？ ※常勤とは週32時間以上勤務の職員（正規・嘱託・臨時職の別ではない）			
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されて実施していることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい			
3	前回の改善計画に対して、具体的な取組みが行われていましたか？			
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？			

B. 事業所のしつらえ・環境（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 ・「居場所」として意識して頂けるような工夫をする			
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？			
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？			
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？			
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？			

C. 事業所と地域のかかわり（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	<p>前回の改善計画について取組んでいましたか？</p> <p>【前回の改善計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ共に地域に出ていく。 近隣の散歩・買物等外に出ていく。</li> <li>・地域に提供する場所を作る 歩行中の方がお休みできるよう施設前にベンチを置き利用していただく。</li> </ul>			
1	職員はあいさつできていますか？			
2	事業所は、地域の方に知られていますか？			
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？			
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？			

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	<p>前回の改善計画について取組んでいましたか？</p> <p>【前回の改善計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の散歩・買物・外食等地域に出ていく機会を多くする。</li> </ul>			
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？			
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？			
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？			
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？			

E. 運営推進会議を活かした取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ <hr/> <b>【前回の改善計画】</b> ・運営推進会議の中で地域関連の事例を話し合う時間を設け情報の共有に努める。			
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？			
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？			
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？			
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？			

F. 事業所の防災・災害対策（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ <hr/> <b>【前回の改善計画】</b> ・防災計画を立て年2回避難訓練を実施する。			
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？			
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？			
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？			
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？			

以上で終了です。ありがとうございました。

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	7		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	7		
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	7		
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	6		1

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・自己評価は個々の意見がでるので話しの中で気づきや振り返りがあり今後も良い機会ととらえて有効に利用していきたい。
- ・ミーティングはスタッフ全員参加で定期的に行っているが時間的余裕があまりない。
- ・毎年同じ様な意見が出る。評価のやり方が変わらなくて良いのか毎年疑問に思いながら行っている。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

- ・日々の業務に追われる中、評価内容を常に意識していくことは難しいがレベルアップ・レベル維持のためには必要な事との認識はある。
- ・出来ている点も多くあり年数を重ねる中で繰り返し評価確認していくことが大事。
- ・出来なかったことをそのままにせず、引き続き評価目標にしていくことが大事である。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- ・年々具体的項目に絞っての計画になってきている。
- ・毎年改善点や意見が出ることは良い。
- ・改善すべき点を意識しながら業務をしていきたい。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・ミーティングやカンファレンス等は必要最低限の回数は開催していくようにする。  
ミーティングで共有することはケアの質・レベルを統一するために必要かつ大事なことだと思うので今後も継続していく。
- ・コロナ以降地域の交流が減り地域のことも情報がなくわかりづらい状況になっているが、運営推進会議や地域の連絡会で情報収集に今後も努めていきたい。
- ・評価ミーティングは事業所の評価を客観的に考える場と捉え、反省の場としていきたい。

【改善計画】※後日記入

- ・実行可能で、かつ、改善が必要な事を具体的な計画にする。
- ・同じ意見・反省が出ない様改善点を意識して日々業務を行う。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7		
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	7		
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	7		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	7		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	7		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・フロアスタッフが対応できるので玄関からの出入りはしやすいようにしている。
- ・無理のない程度の予防対策（消毒・机の配置）は継続して行った。
- ・利用者さん家族・地域のボラさん・見学者・他事業所関係者含め外部からの人の出入りに関しては感染拡大のない時期は制限なくしている。
- ・日中は玄関の施錠はしていない。換気も兼ねながら玄関ドアを全開にしている時期もある。
- ・臭いに関しては換気も含め排泄処理等スタッフ全員で充分気をつけている。
- ・利用者同士、スタッフとの会話が多くできるように席の配置休憩場所等工夫している。

【前回の改善計画】

- ・居場所として「気持ちの良い空間」の提供をしていく。
- ・日中多くの時間を過ごすフロアに季節を感じてもらえるような工夫をしていく。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・家族の訪問や新規利用者さんの見学等対応している。今後も感染症のレベルや法人の指針等を考慮して対応していく。
- ・利用者さんの作品展示スペースのしつらい等に気を配り「見てもらう」ことに留意した。
- ・スタッフの接遇研修はプライバシー保護・倫理・拘束の禁止・虐待防止等の研修とともに毎年実施している。
- ・担当者を中心に季節を感じる壁画・カレンダー等工夫して殺風景にならないようにして話題性をいる。
- ・利用者さんの作品展示等皆で関わりながら作品作りを楽しんだ。
- ・施設の周りは常にきれいにしよう心掛けている。ガーデニングに興味のある方も多く花の名前を覚えたい等会話が膨らんでいる。
- ・清掃・消毒等毎日スタッフが分担し責任を持って行い、4月10日大掃除を実施している。

【今回の改善計画】※後日記入

- ・居場所として「気持ちの良い空間」の提供をしていく。
- ・清掃・消毒等毎日行い、定期的大掃除を実施する

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7		
1	職員はあいさつできていますか？	7		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	5		2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	5		2
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	2	2	3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・来所者の方に対してはスタッフから挨拶をするようにしている。
- ・地域包括支援センターとの連携を強め困難事例や虐待事例等積極的に関わり対応をしていくようにしている。
- ・地域の行事が徐々に再開しているが、利用者さん自体積極的に参加したいという希望があまり見受けられない。
- ・感染症の対応に不安が柔らいたのか近隣の方の見学希望・相談が多くなってきている。

【前回の改善計画】。

- ・地域の方の訪問やボランティアさんの受け入れをしていく。
- ・単独支援困難なケースは利用者担当の地域包括支援センターと連携して支援をしていく。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・日々の業務が施設内で完結することが多いが、今後は外出も含め地域への関りを多くしていきたい。
- ・個人的に地域のラジオ体操や老人クラブ、認知症カフェに参加している方はいるが、スタッフがお手伝いする必要は今のところなく、本人、ご家族、地域の友人対応でできている。
- ・買い物支援の希望は通い時や送迎時スタッフ同行で行っている。
- ・外のベンチには時々通行人が座って休んでいるので、今後も開放していく。夏場の水分補給としての場の提供も検討していきたい。
- ・地域ボランティアさんの受け入れは通年通しての受け入れ態勢にしている。定期的受け入れのボランティアグループも今年度増やし徐々に定期的開催が定着してきている。

【改善計画】 ※後日記入

- ・地域の方の訪問やボランティアさんの受け入れをしていく。
- ・単独支援困難なケースは利用者担当の地域包括支援センターと連携して支援をしていく。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7		
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	6	1	
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	4		3
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	2	2	3
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	3		4

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・運営推進会議で地域の方の事例を包括支援センター職員・民生委員さんのほうからあった時は必要に応じて介護保険利用に繋げたり、相談に対応している。
- ・地域密着施設なので近隣在住の利用者さん優先にご利用をいただいている。
- ・ご近所の独居生活をしている高齢男性宅には時折訪問して様子をお聞きしたり、外出の帰宅時施設に寄ることもあるので状況・安否確認をしている。体調不良時親族に連絡を取る等支援を継続中。

【前回の改善計画】

- ・外出・外食・買物等 日常の生活にメリハリをつけていけるような支援をしていく。
- ・通い時気候の良い時に近所の散歩をする。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・近所の方に見守りや訪問をお願いしても介護保険サービスが関わりだすと関係が希薄になり、地域との関わり方が減っていくことが多いように感じる。
- ・地域に出ていくことは大切と思うが、利用者さんの心身状態をみると負担が大きい場合がある。落ち着いて過ごせれば無理に外出したりしなくても良いのではないかと思う。
- ・散歩は天候を見ながら近隣を短時間少人数で行った。良い気分転換になっている。
- ・外食に対しては秋に企画した紅葉狩りに行き大変好評だったので継続していきたい。
- ・利用者さんはたわわに通いで家を出ること自体が良い刺激になっているので、通院以外の外出先との位置づけになっている。

【改善計画】※後日記入

- ・通い時気候の良い時に、体調に合わせ、外出・外食・買物等日常の生活にメリハリをつけられるような支援をしていく。
- ・お休みなくたわわへ通いを続けられるよう、特に独居利用はお一人お一人個別に支援していく

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7		
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	7		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	7		
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	6		1
4	運営推進会議で出した意見を、改善につなげていますか？	7		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・運営推進会議の報告でたわわの運営・利用状況は報告している。
- ・地域の役員さん（区長・民生児童委員）から包括支援センター職員に相談しているケースは共有するようにして、サービス利用に繋がれば支援しているケースもある。
- ・運営推進会議の提案や意見は定期ミーティングやスタッフの申し送りの中で提案して、今後に活かせるようにしている。
- ・地域の困りごとや状況について会議の話題にはなるが、検討しても解決策までは行かないことが多い。
- ・情報共有できることは出来るだけ共有に努めている。

【前回の改善計画】

- ・運営推進会議時、地域の困りごとについての話し合いの時間を設ける。
- ・地域の情報収集の場にしながら、何か支援できることがあれば協力していく。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・運営推進会議の開催は2か月に1回定期的開催できている。
- ・地域の中で起こっている事に対して介護施設として関わりが持てる場合は積極的にお手伝いをしていくようにしている。
- ・包括支援センターからの紹介で新規利用に繋がるケースが多くあった。今後も連携して支援を継続していきたい。
- ・当事業所のサービスに何らかの理由で繋がらなかった場合は近隣の他事業所（小多機・看多機）を紹介して情報提供をしている。

【改善計画】※後日記入

- ・運営推進会議時、地域の困りごとについての話し合いの時間を設ける。
- ・運営推進会議にスタッフも参加し、会議の内容等を全スタッフで共有していく。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7		
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	2	1	4
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	2	1	4
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？		7	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	4		3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・BCPの策定は完了。スタッフの周知もミーティングや研修で行った。今後も引き続き緊急時・災害時の対応についての周知が必要なので研修会の開催をしていきたい。
- ・自火報・非常ベル・スプリンクラーの使用方法をスタッフ全員が理解し万一の場合に備えていく必要があるので学習会等は引き続き行っていく。
- ・座学での確認学習は行ったが利用者さんを含んでの移動を伴う訓練は感染（コロナ・インフルエンザ）予防の観点から今年では行えていない。次年度は計画をしていきたい。
- ・BCPのための備品（食材・水・暖房器具・発電機・非常用トイレ・寝具等）確保はできている。担当者が中心になって年1回以上の定期的点検見直しを行っていくこと。

【前回の改善計画】

- ・BCP（事業継続計画）の研修会等で全スタッフの意識統一を行う。
- ・災害時における地域の支援体制の確認を行う。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・感染予防のため密になる避難訓練は今年度実施できなかったが、利用者参加の訓練を計画していきたい。  
スタッフは避難訓練の方法や消火器の使い方や消火を実際に行い良い研修になった。
- ・避難訓練はいざという時大事なので定期的に行うようにしていく必要がある。
- ・夜間想定訓練を計画し実施できたが、課題が多く今後の対策が必要。
- ・地域との協力体制も考えていかないといけないと思うので、地区役員さんと連携を取っていくことが今後の課題。

【改善計画】※後日記入

- ・BCP（事業継続計画）の研修会（年1回以上）等で全スタッフに周知徹底を行う。
- ・年2回避難訓練の実施をする。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

令和7年度(2025年度)

法人名	NPO 法人ワーカーズ コープかがやき	代表者	風間 隆治	法人・事業所の特徴	「わが家で暮らし、わが家で老いる」を私たちの想いにして、ご利用者様ご家族様の意向をくみ取り、スタッフが関わりをより多く持ち、個別ケア対応で支援させていただきます。ご利用者様の心身の変化に気づきスムーズに対応できるようスタッフ間の連携を図り情報共有に努めています。施設内ご利用者様が「居場所」「役割」を意識できるよう、居心地の良い場所の提供を心掛けて取り組んでいます。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 たわわ善光寺下	管理者	片岡 茂子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	2人	人	1人	1人	人	1人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>現時点で実行可能で、かつ、改善必要な事を具体的な計画にする。</li> <li>同じ意見・反省が出ない様改善点を意識して業務を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出来ている点も多くあり年数を重ねる中で毎年確認していくことが大事と考える。</li> <li>出来なかったことをそのままにせず、引き続き評価目標にしていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>改善点を出し合い意識共有することに個人評価の意義があるので真摯に向き合いたい。</li> <li>年々具体的な項目に絞っての計画になってきている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実行可能で、かつ、改善が必要な事を具体的計画にする。</li> <li>同じ意見・反省が出ない様改善点を意識して業務を行う。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>居場所として「気持ちの良い空間」の提供をしていく。</li> <li>日中多くの時間を過ごすフロアに季節を感じてもらえるような工夫をしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当者を中心に季節を感じる壁画・カレンダー等工夫して殺風景にならないようにしている</li> <li>施設の周りは常にきれいにしよう心掛けている。利用者さんが足を止めてプランターの花や植木を鑑賞して話が盛り上がることもあるので今後も続けていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日中は玄関の施錠はしていない</li> <li>利用者の作品展示スペースのしつらい等に気を配り「見てもらう」ことに留意した</li> <li>臭いに関しては換気も含め排泄処理等スタッフ全員で充分気をつけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>居場所として「気持ちの良い空間」の提供をしていく。</li> <li>清掃・消毒等毎日行い、定期的大掃除を実施する</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方の訪問やボランティアさんの受け入れをしていく。</li> <li>単独支援困難なケースは利用者担当の地域包括支援センターと連携して支援をしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域ボランティアさんの受け入れは通年通しての受け入れ態勢。定期的受け入れのボランティアグループも数組定着している。</li> <li>地域包括支援センターとの連携を強め困難事例や虐待事例等積極的に関わり対応をしていくようにしている。</li> <li>地域行事の確認をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外出・散布を行い地域との関りを多くしていきたい。</li> <li>買い物支援の希望は通い送迎時スタッフ同行で行っている。</li> <li>社会性の維持の大切さもあり、今後も希望があれば続けていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方の相談や見学の訪問やボランティアの受け入れをしていく。</li> <li>単独支援困難なケースは担当の地域包括支援センターと連携して支援を継続していく。</li> </ul>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>外出・外食・買物等 日常生活にメリハリをつけていけるような支援をしていく。</li> <li>通い時気候の良い時に近所の散歩をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>散歩は天候を見ながら近隣を短時間少人数で行った。良い気分転換になっている。</li> <li>外食に対しては秋に企画した紅葉狩りに行い大変好評だったので継続していきたい。</li> <li>利用者さんはたわわに通いで家を出ること自体が良い刺激になっているので、通院以外の外出先との位置づけになっている。</li> <li>外に目が行くような話題を提供していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域密着施設なので近隣在住の利用者さん優先にご利用をいただいている。</li> <li>ご近所の独居生活をしている高齢男性宅には時折訪問して様子をお聞きしたり、外出の帰宅時施設に寄ることもあるので状況・安否確認をしている。体調不良時親族に連絡を取る等支援を継続中。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通い時気候の良い時に体調に合わせ、外出・外食・買物等日常生活にメリハリをつけるような支援をしていく</li> <li>お休みなくたわわへ通いを続けられるよう、特に独居の利用者さんは個別に支援していく</li> </ul>

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議時、地域の困りごとについての話し合いの時間を設ける。</li> <li>・運営推進会議にスタッフも参加し、会議の内容等を全スタッフで共有していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議の提案や意見は定期ミーティングやスタッフの申し送りの中で提案して、今後活かせるようにしている。</li> <li>・地域の困りごとや状況について会議の話題にはなるが、検討しても解決策までは行かないことが多い。</li> <li>・情報共有に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議の開催は2か月に1回定期的開催ができています。</li> <li>・包括支援センターからの紹介で新規利用に繋がるケースが今年も多くあった。今後も連携して支援を継続していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議時、地域の困りごとについての話し合いの時間を設ける。</li> <li>・運営推進会議に出された地域の事を全スタッフで共有していく。</li> </ul>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BCP（事業継続計画）の研修会等で全スタッフの意識統一を行う。</li> <li>・災害時における地域の支援体制の確認を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BCPの策定は完了 スタッフの周知もミーティングや研修で行った。今後も引き続き緊急時・災害時の対応についての周知が必要なので研修会の開催をしていく。</li> <li>・地域との協力体制も考えていかないといけないと思うので、地区役員さんと連携を取っていくことが今後の課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練はいざという時大事なので定期的に行うようにしていくことが大事。</li> <li>・夜間想定訓練を計画し実施できたが、課題が多く今後の検討が必要。3月にもう1回実施し再確認をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BCP（事業継続計画）の研修会（年1回以上）等で全スタッフに周知徹底を行う。</li> <li>・年2回場面設定を変えた避難訓練の実施をする。</li> </ul>